

苫小牧工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	体育Ⅱ
-------------	------	-----------------	------	-----

科目基礎情報				
科目番号	0042	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	創造工学科 (一般科目)	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	なし			
担当教員	中島 広基			

到達目標				
<p>1.多様な種目において高い意欲を持って取り組むとともに高い技能を習得できる。</p> <p>2.自ら進んで健康増進や体力向上を図り、継続的に学習を行うことができる。</p> <p>3.自己や周囲の安全に留意しながら活動を行うことができる。危険を回避するだけでなく、不安全な行動を予防することができる。</p> <p>4.集団の目指す方向性について責任感をもって自ら示すことの大切さを理解し、他者の意見を尊重した適切なコミュニケーションや協調・共同を意識した行動を実践することができる。</p>				

ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
運動技能・意欲 (主体性)	多様な種目において高い意欲を持って取り組むとともに高い技能を習得できる。	多様な種目において意欲を持って取り組むとともに標準的な技能を習得できる。	意欲を持って運動に取り組むことができず、基本的な技能を習得できない。	
自主的継続的学習 (主体性)	自ら進んで健康増進や体力向上を図り、継続的に学習を行うことができる。	教員の指示により健康増進や体力向上を図り、継続的に学習を行うことができる。	健康増進や体力向上を図ることができず、継続的に学習を行うことができない。	
安全管理行動 (主体性)	自己や周囲の安全に留意しながら活動を行うことができる。危険を回避するだけでなく、不安全な行動を予防することができる。	自己や周囲の安全に留意しながら活動を行うことができ、危険を回避することができる。	自己の安全に留意した活動を行うことができない。	
集団行動力 (主体性、合意形成、チームワーク)	集団の目指す方向性について責任感をもって自ら示すことの大切さを理解し、他者の意見を尊重した適切なコミュニケーションや協調・共同を意識した行動を実践することができる。	集団の目指す方向性について責任感をもって自ら示すことの大切さと、他者の意見を尊重した適切なコミュニケーションや協調・共同を意識した行動の大切さが理解できる。	集団の目指す方向性について責任感をもって自ら示すことの大切さと、他者の意見を尊重した適切なコミュニケーションや協調・共同を意識した行動の大切さを理解できない。	

学科の到達目標項目との関係				
I 人間性	1 I 人間性			
II 実践性	2 II 実践性			
III 国際性	3 III 国際性			

教育方法等				
-------	--	--	--	--

概要	各種スポーツ活動を通じて、健康・安全や運動についての理解と計画的に運動する習慣を教授するとともに、自らすすんで健康の増進と体力の向上を図り、生涯を通じて明るく豊かな活力ある生活を営むことができる能力や態度を育成する。集団の目指す方向性について責任感をもって自ら示すことの大切さと、他者の意見を尊重した適切なコミュニケーションや協調・共同を意識した行動の必要性についての理解を深める。			
授業の進め方・方法	前年度までに履修した種目を中心に、前後期それぞれ複数の種目群を構成し、種目ごとにグループを構成する。各種目で構成されたグループにおいて、練習・試合をどのように行うか検討し、合意に基づき計画的かつ安全に十分配慮しながら自主性と協調性をもって授業をすすめること。また、週毎の授業計画については、天候等諸条件により変更することがあるため担当教員の指示に従うこと。 なお、遠隔授業対応の必要性が生じた場合は、Teamsを用いた教材提供を行い、到達目標に準じ各自の状況に応じた自主的な活動の報告をもって授業への参加とする。			
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的継続的学習の観点から：欠席や消極的な授業態度は減点対象となります。日頃より健康管理に留意し欠席することの無いように自己管理する事。ただし、感染症等による出席停止や課外活動による欠席・事由のある欠席)はこれに含めない。日ごろから自身の欠席状況についてきちんと自己管理すること。なお欠席状況等に修正や申請等が必要な場合についても教務係から指定される期日厳守で申請するなど自己責任で対応すること(期限を過ぎて申告したものについては成績の変更には応じない)。 ・安全管理行動の観点から：授業を受けるにあたっては、運動着、屋内・屋外運動靴を用意すること(用具忘れは減点)。屋内運動靴については指定靴もしくは淡色系(靴底が黒ゴムの物は禁止)とする(土足は大幅減点)。 ・集団行動力の観点から：集団全体の進行・運営に影響を及ぼす行為(遅刻早退・スマホ等の無断使用・無断での中抜けやサボリ)は減点対象となる。 ・分野横断的能力自己評価について：年度末の最終補講日17時までの2週間程度の期間で自己評価を行う。提出忘れは最低点となるので注意する事。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ※日頃から健康管理やスポーツに関わるメディア情報や関連書籍などに関心を持ち、予備知識を得ておくこと。 ※教室からの移動にあたっては貴重品(現金等)を各自のロッカーで施錠の元管理し、教室内に放置することのないよう十分に注意すること。災害等緊急時への配慮としてスマートフォン類の持ち込みは認めるが許可なく使用することは厳に禁止(無断使用は減点対象)とする。その他財布(現金やカード類)、ロッカーキーを含め、体育準備室での預かりはしないので、自己管理を徹底すること。なお、授業中及び前後においてこれら持ち込んだ物品の破損や盗難など一切のトラブルは体育科として責任を負えない。 ※体育授業においては熱中症等予防の観点から、運動時にはマスクを着用しないことを基本とする。運動時にもマスクの着用を希望する場合は着用の強制はしませんが、熱中症等のリスクがある事を十分に承知したうえで各個人の責任で判断すること。 ※普段眼鏡を使用している学生について、怪我及び破損防止のため運動時は眼鏡を外すかスポーツゴーグルやソフトコンタクトを使用を強く推奨する。 ※高専の体育授業においてはガムを噛むほどのアスリートレベルの集中力は必要ない。マナーとしてガムを噛むことは禁止事項とする。 ※飲み物の体育館内持ち込みはペットボトルなどキャップで密封できる物(ガラス製品は不可)のみ許可する。それ以外は床を汚す原因になるため禁止とする。 			

授業の属性・履修上の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	

授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	

前期	1stQ	1週	前期ガイダンス・ストレッチ運動 ※遠隔授業になった場合の授業への対応方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の位置づけを理解することができる。 ・身体の筋肉・関節の柔軟性を高め安全に運動する準備ができる。 ・集団行動時の整列が迅速的確にできる。 ・コロナ禍における日常の運動の重要性を理解できる。 <p>・家庭内や友人間（SNS）での分野横断的能力（自主性・合意形成・チームワーク）向上の実践方法等について理解できる。</p>
		2週	指定種目群（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・フットサル・ソフトボール・テニス・ソフトテニス・ドッジボールの中から複数種目指定） 所属種目で活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・種目群の構成において、周囲と話し合いの中で協調しながら種目を決定し、その種目の中で計画的かつ安全に十分配慮しながら活動を実践することができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		3週	指定種目群（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・フットサル・ソフトボール・テニス・ソフトテニス・ドッジボールの中から複数種目指定） 所属種目で活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・種目群の構成において、周囲と話し合いの中で協調しながら種目を決定し、その種目の中で計画的かつ安全に十分配慮しながら活動を実践することができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		4週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		5週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		6週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		7週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		8週	特別種目群（学生会行事との連携） 春季体育大会練習 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・春季体育大会で実施される種目について、主体的に練習に取り組むことでクラスの団結力を高めることができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
	2ndQ	9週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		10週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		11週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。

		8週	特別種目群（学生会行事との連携） 冬季体育大会練習 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・冬季体育大会で実施される種目について、主体的に練習に取り組むことでクラスの団結力を高めることができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
4thQ		9週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		10週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		11週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		12週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		13週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		14週	グループワーク（Teamsを活用し合意種目群を事前に設定し、当日授業時に配属種目を調整する） 種目ごとに活動内容の検討・計画・実践 ※遠隔授業の場合：自宅実践可能な運動を実践し、Formsにより報告する。	・それぞれ構成された種目グループで、活動にあたっての方針や方法を討議し、改善を要する部分を適宜見直すことができる。 ※遠隔対応の場合 ・日常生活の制約下において、家族や友人との交流と話し合いの中で協調と協同の大切さを学び、自宅内もしくは周辺での実践可能な運動を、計画的かつ安全に十分配慮しながら実践することができる。
		15週	総まとめ 分野横断的能力Lv2（自主性・合意形成・チームワーク）についての自己評価	・年間の授業を通じて、本授業で求められる分野横断的能力について自己評価できる。
		16週	—	—

評価割合

	運動技能・意欲	自主的継続的学習	安全管理行動	集団行動力	合計
総合評価割合	15	30	30	25	100
基礎的能力	15	30	30	20	95
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	5	5